

# はばたき

Sasebo Chuo Hospital Public Relations Magazine

《特集》

## 看護師の中の スペシャリスト

— 地域医療に根差した看護師たち —

LINE UP

✓ 診療看護師・認定看護師の紹介



社会医療法人財団 白十字会

佐世保中央病院



# 看護師の中のスペシャリスト

— 地域医療に根差した看護師たち —

## 認定看護師とは

日本看護協会は「看護の将来ビジョン」（2015年6月）において、「暮らしの場での療養においては、医療的な判断や実施が適時的確になされることが、人々の安全・安心に直結する。将来的には、地域において人々が安全に安心して療養できることを目指し、常に人々の傍らで活動する看護職の、医療的な判断や実施における裁量の拡大を進める。」と掲げています。認定看護師とは、特定の看護分野における熟練した看護技術及び知識を用いて、あらゆる場で看護を必要とする対象に、水準の高い看護実践のできる認定看護師を社会に送り出すことにより、看護ケアの広がりや質の向上を図ることを目的としています。現在21分野の認定看護師資格があり、当院には8分野10名の認定看護師および診療看護師や特定行為研修修了者が在籍し院内および地域でも活躍しています。

（日本看護協会ホームページより一部抜粋）

## 専門性高い看護職の活動を支援

医療ニーズがピークとなる2040年に向け、看護職にはさらに役割を発揮し、病気を抱えながらも住み慣れた地域で安心して暮らすことを支えていくことが期待されています。そのためにも地域包括ケアシステムの医療・保健・福祉を中心に担っていく看護職と共に専門性の高い看護を実践する認定看護師は活動の範囲を広げていく必要性があります。

2022年度も特定行為を含むクリティカルケア認定看護師の教育課程を受講する看護師がいます。今後も各分野の認定看護師などの育成および活動の支援を行い、院内外・地域に貢献できる専門職である看護師を育成していきます。



認定看護管理者  
横山 藤美

## 診療看護師とは



診療看護師兼  
緩和ケア認定看護師

桃田 美智

「日本NP教育大学院協議会が認める教育課程を修了し、協議会が実施するNP資格認定試験に合格した者で、患者のQOL向上のために医師や多職種と連携・協働し、倫理的かつ科学的根拠に基づき一定レベルの診療を行うことができる看護師」※1とされています。大学院修士課程において医学に関する知識や、特定の医療に関する実践を学び、また特定行為研修も終了しますが、大学院により特定行為区分数は異なります。

クリティカル領域とプライマリ領域（成人/老年、小児）があり、活動フィールドは、病院（救急、各診療科、手術室等）や診療所、介護施設、訪問看護と多岐にわたります。

特定行為の実施や医師の補佐的なイメージがあると思いますが、医師・薬剤師等の他職種と連携・協働を行い、一定レベルの診療を自律的に遂行し、患者さんの症状マネジメントを効果的・効率的・タイムリーに実施することにより患者さんのQOLの向上を図ること、高度実践看護の提供と看護の質の向上により、患者さんの病状管理、健康管理などを行うことも大きな役割です。

※1 日本NP教育大学院協議会HPより引用

## 診療看護師を目指したきっかけ

老健勤務中に老健の医師の多忙さを目の当たりにし、何かできることがないかと考えたことで、診療看護師の存在を知り、大学院受験のきっかけとなりました。大学院での臨地実習で様々な経験をさせていただきましたが、診療所実習で、医師の往診前訪問や診療前の診療の経験が、現在実施しているターミナル期や重症患者さんの退院同行や退院後訪問による管理に繋がっています。

## 緩和ケア 認定看護師とは



緩和ケア認定看護師

福田 富滋余

コロナ感染死の増加は、これまで遠ざけられていた「人の死」がタブーではなくなり、誰にも例外なく訪れる事実であると考える人が増え、「緩和ケア」が身近になりました。

法人内の看護・ケアの質向上のため、包括的かつ多角的に以下の業務を行っています。

- 1,患者さんを全人的に理解し、QOLの維持・向上のために専門性の高い看護を実践する
- 2,コミュニケーションスキルを用い、患者さん・ご家族の価値観を理解し、価値観を尊重したケアを実践する
- 3,患者さん・ご家族の喪失・悲嘆に対する適切な支援を行う
- 4,患者さん・ご家族の権利を擁護し、自己決定を尊重した看護を実践する
- 5,他職種と共働し、チームの一員またはリーダーとして、医療の質向上を推進する
- 6,患者さん・ご家族への看護実践を通して、看護職員への指導・相談を行う



緩和ケア認定看護師

山口 美穂子

## 緩和ケア 認定看護師を目指したきっかけ

看護師になり1年目に受け持った肝臓がんの患者さん・ご家族との出会いと1年目で仕事が上手いかず落ち込む私に当時の病棟課長から「がんの患者さんの看護はどう？あなたにいいと思うの」と声をかけられたのが始まりです。それからがん看護に興味を持ち看護をしていく中で「患者さんの苦痛をどうにかできないか」との思いから認定看護師を目指しました。（山口美穂子）

## 感染管理 認定看護師とは



感染管理認定看護師

奥田 聖子

疫学・微生物学・感染症学・消毒と滅菌・関係法規などに関する専門的知識を基盤に当院の状況に合った効果的な感染防止対策を構築し、患者さんやスタッフ、面会者や委託業者、実習生など病院に関わるすべての人を感染から守るために活動をする看護師です。

体調が悪い方や免疫の弱った患者さんが集まる病院は、感染症が持ち込まれやすく、対策が行われなければ感染症は広がって当然です。その危険性を予知し、対策を行うことで院内感染の発生を防止し、すべての患者さんやスタッフが安全に過ごせるよう体制を整えています。

## 感染管理 認定看護師を目指したきっかけ

感染委員になったことをきっかけに感染対策について学習を開始。その中で、当然と思っていた感染対策に根拠がなかったり、必要な感染対策が導入されていなかったりなど問題点に気づくことができました。上司に相談し改善を始めました。その中でもっと専門的知識を得て、必要な感染対策を見極めて導入を行い、すべての職員に実践してもらうことで感染対策に強い病院にしたいと思ったためです。

## がん化学療法看護 認定看護師とは



がん化学療法看護  
認定看護師

原田 里香

がん化学療法は、一般的には「抗がん剤治療」と同じような意味です。「がん化学療法看護認定看護師」としての主な役割は、がん化学療法を受ける患者さんとそのご家族をサポートし、治療をできるだけ安楽に、安全に、安心して受けていただけるようお手伝いすることです。がん化学療法が開始となった時点、治療中、治療後の経過観察時期に、日常生活上の注意することの説明や点滴がきちんと投与されるような管理、副作用症状に対するケアなどを行います。また、患者さんやご家族への関わり以外に、病院全体のがん化学療法が安全に実施できるような体制づくりや治療に携わる看護師が安全に、安心して仕事ができるような環境づくりにも関わります。

## がん化学療法看護 認定看護師を目指したきっかけ

患者さんからの質問や、副作用対応をお話しする時に、「本当に患者さんの役に立っているのか、もっとできることがあるのではないか」と疑問を持ち始め、深い知識を持ち、患者さんやご家族のお役に立ちたいと思いました。また尊敬する看護師から「一緒にごがん患者さんやご家族のために頑張ろう」と声をかけてもらったことも大きなきっかけでした。

## 脳卒中リハビリテーション看護 認定看護師とは



脳卒中リハビリテーション  
看護認定看護師

山口 淳也

脳卒中は後遺症を残すことが多く、生活に大きな影響を及ぼしたり、社会復帰を困難にすることがあります。また、発症直後は生命が危機的状況になることもあります。突然の発症が多く、患者さんだけでなく、支えるご家族に対するケアも必要とされます。脳卒中リハビリテーション認定看護師は、発症早期から退院後の生活を見据えて、医師・リハビリスタッフ・社会医療相談員他職種と連携して機能回復訓練の支援や生活行動の自立に向けた支援を行います。

地域に戻られる患者さんに対して、脳卒中再発予防の生活指導を行い、安心して帰れるように生活環境の調整を行います。少しでも多くの患者さんが住み慣れた自宅、地域に戻り生活できることを目指し日々活動しています。

## 脳卒中リハビリテーション看護 認定看護師を目指したきっかけ

看護学生時代はMRI・CT・レントゲン撮影と手術勤務でした。そこで、受診や救急搬送時に撮影する際、病態や症状から何処をどのように撮影すればよいのかアセスメントすることが重要でした。脳疾患の病態や今後予測されることなど多くの事を学ぶに連れ看護に活かせるのではないかと考えていました。当院へ入職しICU勤務10年目に自分の今後を考えたときに好きな分野で働きたいと思い、更なる追及を深めるために脳卒中リハビリテーション看護認定看護師の道を目指しました。

## 救急看護 認定看護師とは



救急看護認定看護師

谷口 拓司

救急看護認定看護師は救急現場において、救命技術を実践すると共に、危機的状況にある患者さんやご家族の精神面のサポートを行います。様々な状況の中で、確実な救命技術、看護を実践し専門的な知識や熟練した技術を習得しています。

「命を救い生を支える」為に、救命技術の啓蒙活動、指導や教育などを行い、患者さんの一日でも早い社会復帰を目指せるように救急看護の提供をしています。

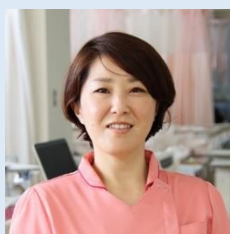
救急の患者さんの特徴としては、限られた情報や時間軸で緊急性や重症度を判断し、対応に対する備えや準備、調整を行い、医師はもちろん看護師、コメディカルを含めたチーム医療が円滑に機能しなければなりません。救急看護認定看護師は救急医療や看護を提供するチーム医療の調整の役割にも大きく貢献しています。

## 救急看護 認定看護師を目指したきっかけ

私はこれまで、集中治療室や手術室などの部署で勤務を経験しました。自身の自己研鑽を目的に救命救急に関する研修への参加や職場で救命技術指導や教育に携わることがありました。そのような中で徐々に救急看護について興味が出てきました。看護師としてステップアップに悩んでいる時に、職場の上司から「救急看護認定看護師を目指してもいいんじゃない。」と背中を押していただき、救急看護認定看護師を目指しました。

救急看護を実践する場合は、院内に留まらず、在宅から公共の場、あらゆる場が対象となります。現在、院内外で活動する私にとっては、救急看護認定看護師を目指して良かったと思っています。

## 集中ケア 認定看護師とは



集中ケア認定看護師  
廣瀬 友美

集中ケア領域では、各種モニタリングや人工呼吸器など様々な医療機器や薬剤が必要となり、患者さんの身体・精神だけでなく、患者さんを取り巻くご家族にも多くのストレスをもたらしています。

集中ケア認定看護師の役割は、過大侵襲を受け、生命の危機的状態にある患者さんに対して、病態の変化を様々なモニタリングやフィジカルアセスメントから予測し、重症化や二次的合併症のために早期介入を図るべく、看護師への提言や患者さんへのケアの提供を行なうことです。また、集中治療を要する患者さんの理解や高度な医療機器の管理に必要な知識や技術を看護実践や勉強会を通じて提供し、ICUにおける看護の質の向上に努めています。

### 集中ケア 認定看護師を目指したきっかけ

新人看護師2年目の時にICUに配属となり、14年ICU看護を学びましたが、経験値で教育したり業務をこなしているだけの毎日に面白さを感じませんでした。根拠に基づいた看護を提供することや教育することによってICU看護師のやりがいや専門性をもった看護師が育成したり、自分自身が学びとなることに楽しさを感じたこと、同じモチベーションの先輩看護師の影響もあり、集中ケア認定看護師を目指しました。

## 慢性心不全看護 認定看護師とは



慢性心不全看護  
認定看護師

船崎 このみ

慢性心不全看護認定看護師とは、心臓病を患っている方の心臓の機能や心不全の増悪の原因などを考え、心不全の予防や増悪を回避できるように患者さん、ご家族に対して支援を行うことが役割とされています。心臓病とは心筋梗塞や狭心症、弁膜症、不整脈、高血圧などとたくさんの病気を含んでおりますが、これらの病気の最終形態として心不全といった病気があります。心不全の患者さんは超高齢化に伴い、増加の一途をたどっており、日本国内で2035年には130万人にのぼるとわれています。心不全の症状は多種多様であり、苦痛を伴うことが多いです。一度心不全が悪くなってしまったら元の心臓の状態に戻すのは難しく、心臓の機能がこれ以上悪くならないように管理していくことがもっとも大切です。患者さんとともに症状悪化を予防できるよう改善策を提案し、関わらせていただきたいと思えます。

### 慢性心不全看護 認定看護師を目指したきっかけ

循環器内科・心臓血管外科病棟に勤務し、5年が経過したころに、心不全が悪化し再入院してくる患者さんが多数いらっしゃいました。心不全という病気はどのような仕組みで、患者さんにどのような影響があり、また、それらを予防する方法はないだろうかと考えることが多くなりました。2020年に認定看護師の資格を習得し、多くの心臓病の患者さんに関わらせていただいております。まだまだ新米の認定看護師ですが、患者さん・ご家族にとっての最善を実現できるよう取り組んでいきたいと思えます。

## 皮膚・排泄ケア 認定看護師とは

褥瘡（床ずれ）・創傷（傷）、人工肛門・人工膀胱（ストーマ）、排泄物が原因でおこる皮膚炎などに対し、医師と共に治療やケアの方法を検討する看護師です。

- ①皮膚のトラブルや創傷の発生を予防するためのスキンケアを行います。また、創傷を治すため、生活環境や局所（創傷）環境、寝床環境などを整えるケアを行います。
- ②ストーマを造る手術を控えている方に情報提供を行います。ストーマを保有されている方のストーマ周囲皮膚の管理、装具の選択、日常生活のアドバイス、精神的なサポートを行います。
- ③病気や手術後、加齢によって発生する尿失禁や便失禁の改善を促すケアを行います。失禁による皮膚のかぶれに対する予防や改善のためのケアを行います。



皮膚・排泄ケア認定看護師

鴨川 千香子

## 皮膚・排泄ケア 認定看護師を目指したきっかけ

耀光リハビリテーション病院に勤めていたころに褥瘡委員となり、多くの床ずれ患者さんを看てきました。床ずれを治すため、体位の調整、処置方法、栄養などの検討を行いました。寝たきりの方や栄養状態が低下した方でも、アプローチの方法で傷は治ることを経験し、もっと勉強して傷を治したいと思い、皮膚・排泄ケア認定看護師を志しました。



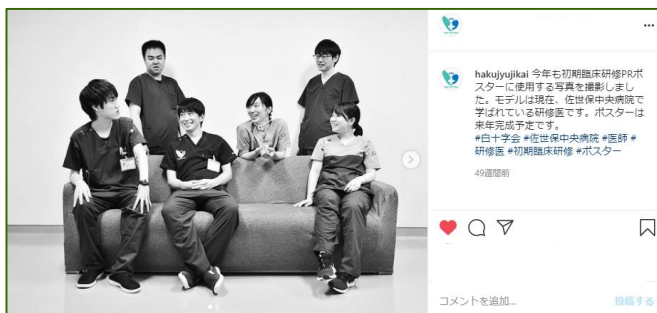
**私たちは専門性の高い看護で地域の医療を支えます。**

佐世保中央病院 看護部 認定看護師一同

## TOPICS



# 白十字会・佐世保中央病院の 公式Instagram & Facebook 更新中！



白十字会  
Instagram



佐世保中央病院  
Facebook



### 初めて当院の外来受診を希望される方へ

- 当院の外来受診は、時間帯予約制をとっております。受診希望の方は、お電話にてご予約をお願いいたします。
- 当院は地域医療支援病院の指定を受けておりますので、原則としてかかりつけ医療機関からの紹介状をご持参ください。
- 紹介状が無い場合は、初診時選定療養費としまして通常の初診料に加えて5,500円（税込）のご負担をいただいております。まずはかかりつけの医療機関、またはお近くの医療機関の受診をご検討ください。

☎《再診／紹介状のない方》 0800-7000-888（コールセンター）

《紹介状がある方》 0120-33-8293（地域医療連携センター）

○土曜日は休日診療体制とさせていただきます。

- ・救急部は24時間体制です。 ・医師の出張等により休診する場合がございます。
- ・すべての診療科において時間帯予約制をとっております。受診希望の方は、事前にご連絡いただき予約をお取りください。

社会医療法人財団白十字会 佐世保中央病院 〒857-1195 長崎県佐世保市大和町15番地

TEL: 0956-33-7151 FAX: 0956-33-8557 編集・発行: 佐世保中央病院 広報委員会

広報誌に関するご連絡先 E-mail: [sch-kouhou@hakujujikai.or.jp](mailto:sch-kouhou@hakujujikai.or.jp) 佐世保中央病院ホームページ <https://hakujujikai.or.jp/chuo/>